

『生きる稽古 死ぬ稽古』(日貿出版社)出版記念！

藤田一照先生 & 伊東昌美さん講演会

【生と死の不思議を笑って語ろう】

日時：2017年8月17日(木)

19時00分～(開場：18時30分)

※講演会終了後、サイン会を実施いたします。
(お持ち込みの本・色紙・グッズ等へのサインはできません。)

場所：八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー

どんな人生を送っていても、最後に訪れる「死」。なんとなく、長い線の上を歩いていて、最後に死が待っているようなイメージを持っていますが、藤田先生は「生と死は紙の裏表のようにひとつでありながら、生きている側からは決してうかがい知れないもの」と言います。講座では共著者であるエンディングノートプランナーの伊東昌美さんと、本の内容を中心に、遠くて近い「死」をテーマに、お二人に語って頂きます。

《講演者紹介》

藤田一照(ふじた いっしょう) 《禅僧》



1954年、愛媛県生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程中退。曹洞宗紫竹林安泰寺で得度し、1987年からアメリカ・マサチューセッツ州のヴァレー禅堂住持を務め、そのかわり 近隣の大学や瞑想センターで禅の指導を行う。現在、曹洞宗国際センター所長。著書に『現代坐禅講義』(佼成出版社)、『アップデートする仏教』(山下良道との共著、幻冬舎)、訳書にティク・ナット・ハン『禅への鍵』(春秋社)、鈴木俊隆『禅マインドビギナーズ・マインド2』(サンガ)など多数。写真に登場する猫は愛猫・テラ。

伊東昌美(いとうまさみ) 《エンディングノートプランナー&イラストレーター》

愛知県出身。イラストレーターとして、雑誌や書籍の挿画を描いています。『1日1分であらゆる疲れがとれる耳ひっぱり』(藤本靖・著 飛鳥新社)、『舌を、見る、動かす、食べるで健康になる！』(平地治美・著 日貿出版社)、『システム感情片付け術』(小笠原和葉・著 日貿出版社)と、最近では健康本のイラストを描かせてもらっています。長年続けている太極拳は準師範(日本健康太極拳協会)、健康についてのイラストを描くことは、ライフワークとなりつつあります。自身の作品は『ペソペソ』『おそうじ』『ヒメ』という絵本3冊。いずれもPHP出版。

参加方法

- ▼参加定員 : 50名(申し込み先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▼参加条件 : 対象書籍『生きる稽古 死ぬ稽古』(本体1,600円+税)をご購入。
- ▼申込方法 : 1階カウンターにて参加整理券のご予約を承ります。
対象書籍を当店でご購入いただいた際に、参加整理券をお渡しいたします。(参加整理券1枚につき、お1人のご入場とさせていただきます。)
お電話によるご予約も承ります。(電話番号:03-3281-8201)
* 対象書籍は当日会場入り口にて販売致しますので、その時お買い求めください。

※お預かりした個人情報(氏名・電話番号)は、お申込みのイベントが中止、もしくは日時が変更になった場合のご連絡のみに使用致します。

主催：八重洲ブックセンター

協賛：日貿出版社